

平成22年度

事業報告書

財団法人 国際協力推進協会

(1) 対話促進事業

① カントリー情報朝食会（維持会員向け）

本年も、下記の通り、外務省等官庁の幹部や民間有識者を講師としてお迎えし、毎月1回開催している。

回	開催日	講 師		演 題
264	H22.4.23	外務省 中南米局長	佐藤 悟	最近の中南米情勢(ブラジルを中心に)
265	H22.5.25	外務省 地球規模課題審議官組織 審議官	宮川 眞喜雄	国連気候変動交渉の現状と見通し
266	H22.7.7	外務省 外務審議官	小田部 陽一	カナダ G8、G20サミットの成果
267	H22.7.22	外務省 アジア大洋州局審議官	北野 充	日本の近海を巡る外交懸案
268	H22.9.30	外務省 特命全権大使 生物多様性条約第10回締約国会議担当	荒木 喜代志	COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)について
269	H22.10.19	前駐中華人民共和国特命全権大使	宮本 雄二	最近の中国情勢と日中関係
270	H22.11.17	東京大学大学院総合文化研究科・ 教養学部教授	山内 昌之	21世紀国際政治の焦点－イランの核開発とイスラエルの反発
271	H22.12.7	文化庁 長官	近藤 誠一	日本の文化交流についての課題
272	H23.1.25	前大韓民国特命全権大使	重家 俊範	最近の韓国情勢と日韓関係
273	H23.2.17	外務省 前駐ブラジル大使	島内 憲	新興国ブラジルと日本の対応
274	H23.3.8	特命全権大使 経済外交担当 前駐インド特命全権大使	堂道 秀明	新興国インドと日本の対応

② ODA懇話会（維持会員向け）

ODA実務担当責任者を講師にお迎えして、随時、開催している。

回	開催日	講 師		演 題
19	H22.6.1	外務省国際協力局 開発協力総括 課長	牛尾 滋	最近のODAを巡る動きと官民連携の推進について

(2) 「国際協力プラザ」事業 (外務省委託事業)

① 「国際協力プラザ」 ODA情報センター施設の運営・維持・管理

国際協力プラザ「東京本部」をODA情報センターの中核に置き、「大阪分室」、「国際協力プラザコーナー」89ヶ所との連携により、ODA広報を展開。

② インターネットを活用したODA広報

ODAインターネットテレビによる映像配信などにより、国際協力プラザホームページの月間合計アクセス件数は約111万件/月である。

③ 国際協力関連セミナーの開催、講師派遣

ODA関連の広報セミナーを次の通り開催した。

仙台（7月）：せんだい地球フェスタ2010（於仙台国際センター）

東京（10月）：グローバルフェスタJAPAN2010（於日比谷公園）

大分（10月）：おおいた国際協力啓発月間in2010（於いいちこ文化センター）

愛知（10月）：ワールド・コラボ・フェスタ2010（於名古屋オアシス21銀河の広場，久屋大通り公園）

沖縄（11月）：国際協力・交流フェスティバル（於JICA沖縄国際センター）

函館（11月）：世界みんなの笑顔のために ～はじめよう！国際協力～ 映画 & ワークショップ（於（財）北海道国際交流センター）

大阪（2月）：ワン・ワールド・フェスティバル 世界とお仕事～国際協力と国際協力の仕事とは？～（於（財）大阪国際交流センター）

④ 開発教育に係わる人材育成

- ・全国より修学旅行生を11月末まで40校受入れ、国際協力について説明している。
- ・夏季期間、2大学より3名のインターン生を受け入れ、国際協力について研修させた。

(3) 日本人若手国際協力・開発問題研究者奨学事業 (牛場信彦記念事業)

過去5年にわたり、ASEAN各国から毎年2国ずつ若手研究者を招聘して、主と

して国際協力分野の研究活動を行なわせる事業を実施してきたが、平成21年度でASEAN10カ国を一巡した。

そこで、この機会にこれを見直し、海外の大学院など高等教育施設で国際協力・開発問題を専攻し、修士号以上の資格を取得しようとする日本人若手研究者に奨学金を付与することとした。ただし、22年度はタイミングの関係上、実施できなかった。

現在、23年度からの事業開始に向け、準備中である。

(4) 国際協力基金事業 (受託事業)

「太平洋島嶼国開発協力基金」および「日・カリブ友好協力基金」両基金の事務局として、運用益を適切に処理している。

①太平洋島嶼国開発協力基金 (基金額1,000万ドル)

運用益期首残高	311,148.29ドル
運用益期中入金額	1,013.94ドル
期中支出額	79,086.85ドル
運用益現在残高	233,075.38ドル

②日カリブ友好協力基金 (基金額1,000万ドル)

運用益期首残高	917,657.50ドル
運用益期中入金額	1,461.53ドル
期中支出額	160,265.77ドル
運用益現在残高	758,853.26ドル